

令和4年度 第7回 直江津区地域協議会

次 第

日時：令和4年9月13日（火）**18:30 - 20:00**

会場：レインボーセンター 多目的ホール

1 開 会 **18:30 - 18:32**

2 会長あいさつ **18:32 - 18:35**

3 議 題 **18:35 - 19:55**

【報告事項】

・新上越斎場建設事業について

・市民いこいの家の温浴機能の廃止及びその後の利活用について

【自主的審議事項】

・直江津まちづくり構想について

4 その他 **19:55 - 20:00**

・次回地域協議会

      月       日（      ）午後6時30分～ レインボーセンター 多目的ホール

5 閉 会

令和 4 年 9 月 13 日

直江津区地域協議会

福祉部福祉課

## 新上越斎場建設事業について

### 1 建設工事の状況について

令和 4 年 3 月市議会定例会の議決（議案第 39 号）を経て本契約を締結した「新上越斎場建設事業 建設工事」については、本契約からこの間、高館グループが建設工事に係る設計を実施している。（※本資料は、基本設計段階のものであり、実施設計段階において変更することがある。）

### 2 本事業の基本コンセプト

- (1) 将来の火葬需要や市民ニーズに対応できる施設
- (2) 遺族等が故人を偲び、厳かにお見送りができる施設
- (3) 人にやさしく、安心して利用できる施設
- (4) 周辺環境に配慮した施設
- (5) 効率的な運営に資する施設

### 3 計画概要

- (1) 主要用途 火葬場
- (2) 建築場所 上越市大字居多地内
- (3) 建築面積 約 2,872 m<sup>2</sup>
- (4) 延床面積 約 2,385 m<sup>2</sup>
- (5) 構造/規模/高さ：鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）/地上 2 階建て/14m
- (6) 諸室等 告別室 3 室、収骨室 2 室、収骨予備室 1 室、待合室 5 室、待合ホール 2 室、多目的室 1 室、キッズコーナー 2 か所、炉室（火葬炉 5 基） ほか

### 4 スケジュール

令和 4 年度 地質調査、基本設計、実施設計

令和 5 年度 造成工事、建築工事

令和 6 年度 建築工事、外構工事

※令和 6 年 12 月供用開始（予定）

令和 7 年度 現上越斎場解体、跡地整備

## 5 基本設計概要

### (1) 計画コンセプト

### 基本構想の5つのコンセプトに基づいた斎場計画

#### ① 将来の火葬需要や市民ニーズに対応できる施設

- ◎ 将来の火葬需要に対応可能な火葬能力と斎場施設
  - ・平面計画の工夫によりピーク時の火葬をスムーズに行える斎場
- ◎ 希望する時間帯の予約を可能に
  - ・平面計画の工夫によりニーズの高い時間帯も葬家を待たせることなく、スムーズに運営可能
- ◎ 直葬等に対応可能な施設
  - ・多目的室専用の出入口とエントランスホールを設置することで直葬などにも対応可能
  - ・「寺参り」の慣習に合わせ、寺参り用の出入口を設置

#### ② 遺族等が故人を偲び、厳かにお見送りができる施設

- ◎ 交錯しない独立した空間、プライバシーを確保し、心情に配慮した施設
  - ・ダブルコリドールや待合ゾーンの2ゾーン化により交錯することのない厳かなお見送りの場を創出
  - ・待合コーナーや四季の小路等、会葬者が心情に合わせて待合時間を過ごせるスペースを設置
- ◎ 海や山などの自然が感じられるよう眺望に留意した施設
  - ・待合室、待合ホールから四季の庭や日本海への眺望が可能

#### ③ 人にやさしく、安心して利用できる施設

- ◎ 到着早遅や炉の突発的な事故にも対応が可能な施設
  - ・入退場の調整がしやすいようバスなどの待機レーンを設置
  - ・スケジュールの遅延や炉の突発的な故障時も待たずに火葬ができる収骨予備室を設置
- ◎ 公共建築物ユニバーサルデザイン指針を遵守し、利用者に配慮した施設
  - ・斎場の機能に合わせ、分かり易くて安全な誰もが使いやすい施設となるよう様々な配慮が行き届いた施設とする。

#### ④ 周辺環境に配慮した施設

- ◎ 周辺環境に溶け込むデザインで、周辺環境との調和を図る
  - ・周囲の山や海の景観に調和する勾配屋根を架け、アースカラーを基調としたデザインとする。
- ◎ 環境対策に十分配慮した施設設備の導入を図る
  - ・自然エネルギー利用や省エネルギー施策によりLCCを削減
- ◎ 周辺の緑地化や庭園の設置など、遺族・会葬者を和ませる効果の創出を図る
  - ・四季の庭や四季の小路を配し、季節の情景が遺族や会葬者の心を癒す斎場とする。

#### ⑤ 効率的な運営に資する施設

- ◎ 建設・運営の縮減が図られ、運営・維持管理しやすい施設
  - ・閑散時や将来の火葬件数ピーク以降は稼働範囲を絞れる効率的な施設計画とする。
  - ・塩害等に配慮した高耐久素材や修繕に配慮したディテールにより、維持管理費を縮減する。
  - ・管理ゾーンの集約化、管理専用動線の設置などにより管理・運営しやすい施設とする。

#### 全体景観 周囲の自然、日常的風景と調和する大屋根のある斎場

##### ■ 屋根が連なる、斎場にふさわしい佇まい

- ・周囲の山並みや海と調和する大屋根のある斎場とし、勾配屋根と陸屋根を組合せ、大雪時にも落雪しない形状
- ・深い軒があるモダン和風の意匠とすることで、日常の風景に調和する市民が親しみやすい斎場とする。
- ・葬家をお迎えする車寄せは、列柱と杉の軒天井により雁木造りをイメージした上越らしい意匠とする。



#### 斎場計画 個人の尊厳を守り、厳かにお見送りができる斎場

##### ■ スムーズな着棺を可能とする配置計画

- ・駐車する車が霊柩車の進行を妨げないよう、霊柩車とバスの車寄せへの動線を駐車場と分離
- ・業務車両と会葬者車両の出入口を分離。ゴミ収集車や残灰搬出車両等が会葬者から見えない。

##### ■ 区域Bを鎮魂と癒しの場として再生

- ・現斎場火葬炉跡地には上越の木である桜を列植し、火葬された故人の鎮魂の場として整備
- ・現斎場の霊灰塔は現斎場利用者の心情に配慮し、外装をきれいに補修

#### 外構計画 遺族に寄り添う自然豊かな風景のある斎場

##### ■ 四季の彩りを感じられる植栽計画

- ・大切な人とのお別れが四季の情景と共に思い出になるよう庭園を整備
- ・各庭、沿道の修景、区域B外構は、花や紅葉、新緑など一年を通して季節を感じる草木を植栽

##### ■ 海への眺望、自然に囲まれた待合空間

- ・待合室、待合ホールからは、丘状の登庭越しの眺望とし、管理車両の通行や敷地北西にある建物を隠し、日本海が望める計画とする。



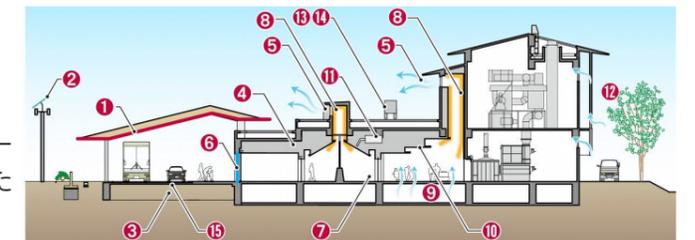
#### 地域性 上越らしさを演出・地域経済に貢献

- 地域資源（特産物・技術・人材）を積極的に採用
  - ・畳・建具等で上越市認証特産物「Made in 上越」認定企業を積極的に活用する。
  - ・上越で人気の装飾品を組み込み、市民の心に寄り添う雰囲気や創出するとともに地元経済に貢献する。
- 地域の景観を創る
  - ・地元産杉を車寄せの軒天井にて活用し、雁木造り想起させるお迎え空間を創出する。



#### 環境 環境に配慮した省エネルギーな施設

- 自然エネルギー利用や熱負荷低減などの様々な省エネルギー技術を採用
  - ・自然エネルギーを活かしつつ、省エネルギー性の高い機器等を採用し、環境負荷を抑えた計画とする。



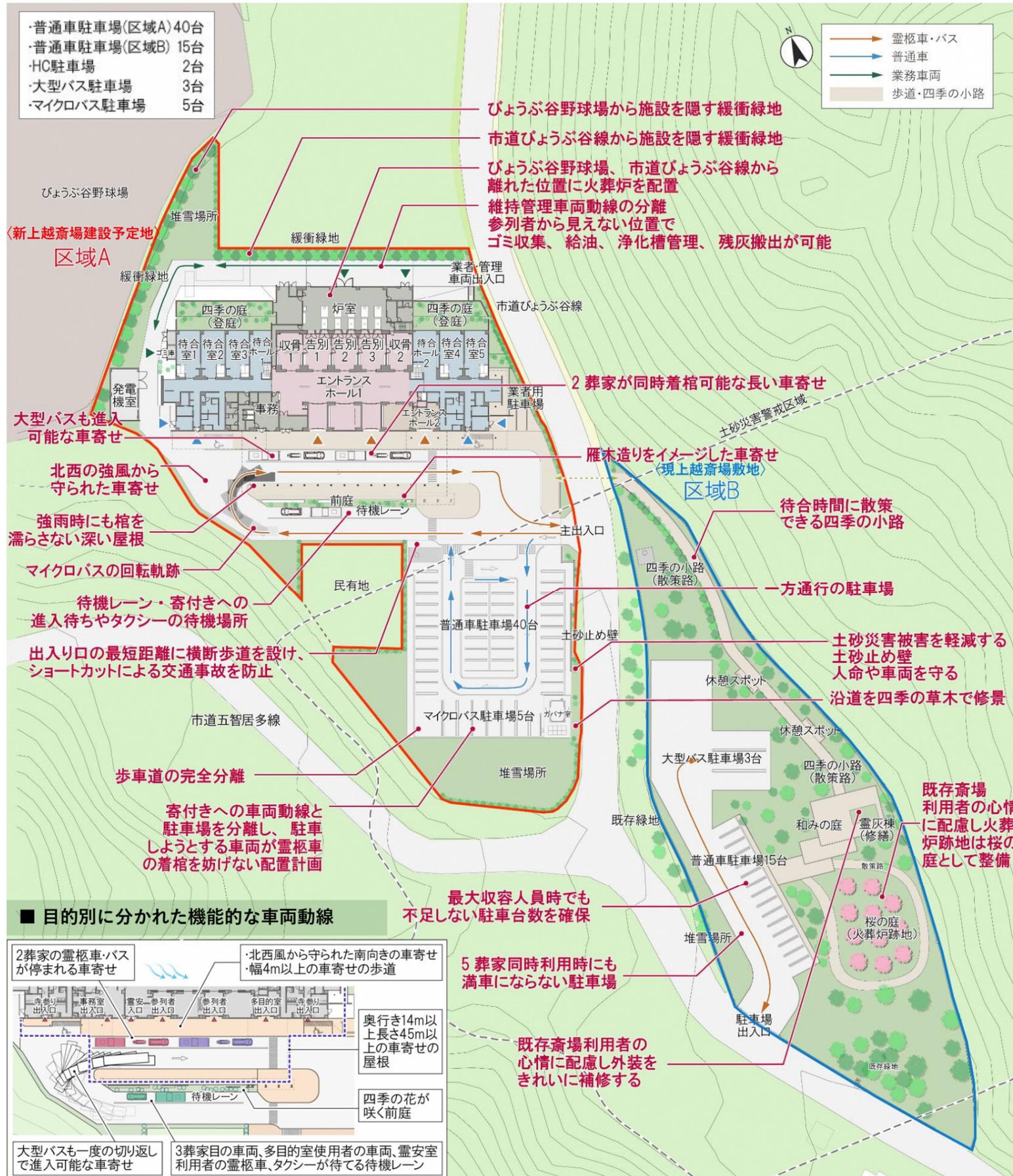
1 上越市産もしくは県産の杉材を使用した軒天井、持続可能な森林の育成	2 太陽光発電による外灯、自然エネルギー利用	3 ピットを埋め戻し、発生土を場外搬出しない、地域環境の保全	4 高断熱、高气密による空調負荷低減、省エネルギー
5 自然通風、自然換気、自然エネルギー利用	6 複層ガラスによる空調負荷低減、省エネルギー	7 引戸による稼働範囲の調整、省エネルギー	8 間接光による自然採光、自然エネルギー利用
9 床吹出し空調による居住域空調、省エネルギー	10 調光システム、省エネルギー	11 トップランナー機器の採用、省エネルギー	12 コンクリートチャンバーによる自然通気、省エネルギー
13 マイクロジェネ、エネルギーの効率化	14 室外機の耐塩仕様化、LCCO <sub>2</sub> の削減	15 再生骨材の利用、リサイクル材の活用	

#### BCP インフラ途絶時にも、火葬を継続できる計画

##### ■ インフラ復旧までの期間を3日間と想定した計画

- ・インフラ復旧までの期間を3日間と想定。インフラ途絶時にも火葬を継続できる計画
- ・発電設備は、3日間火葬炉の運転ができる能力とし、必要な斎場機能を維持できるよう、消防設備や電気室の給気排気、浄化槽、霊安室冷蔵庫、給水ポンプ等の負荷を見込む。

## (2) 配置計画



**■ 区域Aの計画 〈新上越斎場建設予定地〉**

- 大きなボリュームとなる火葬炉関連の諸室は敷地の中央に配し、びょうぶ谷野球場、市道びょうぶ谷線両方から離れた配置とする。
- 主要施設は土砂災害警戒区域外に整備する。普通車駐車場東側に土砂止め壁を設け、生命と車両を守る。
- 勾配屋根が架かるモダン和風の意匠とすることで市民が親しみやすい斎場とし、日常的風景との調和を図る。敷地北側には緩衝緑地を設ける。
- 造成計画を極力抑えた安全な計画で、残土の搬出がない地域環境に配慮した計画とする。
- 北西からの強風、潮風を考慮した地域に適した植栽とする。上越市の推薦する草木を中心に参列者が季節を感じる植栽とする。
- アスファルト舗装は除雪ドーザーの走行に配慮し密粒とする。緑地の確保に努め、一部の雨水枡を浸透枡とし、敷地外への雨水の放流を抑制する。

**■ 区域Bの計画 〈現上越斎場敷地〉**

- 大型バス駐車場、普通車駐車場を設け、待合中に散歩できるように四季の小路、ベンチを整備する。区域Bの舗装は再舗装とする。
- 既設火葬炉跡地には、上越市の樹木である桜を列植し慰霊碑を設ける。
- 既設霊灰塔は現斎場利用者の心情に配慮し、外装をきれいに補修する。
- 区域Bの市道びょうぶ谷線側の緑地は保全する。

**■ 車両出入口**

- 駐車場は一方通行、歩車道は完全分離し、施設出入口への最短距離に横断歩道を設けることでショートカットを防ぎ構内の交通事故を防ぐ。
- 車両の出入口は見通しの良い計画とする。
- 区域Aは敷地中央に会葬者車両出入口、北側に管理用車両の出入口を設ける。
- 四季の庭、前庭を整備する。市道びょうぶ谷線側は、街路の修景を行う。
- 植栽の配置は除雪を考慮した配置とし、区域A・Bに十分な堆雪場所を設ける。
- 待機レーンを設け、3葬家以上の入退場が重なった場合でも、順次スムーズな着棺を可能とする。タクシーや霊安室利用の霊柩車、多目的室利用の霊柩車やバスの待機場所としても利用可能な計画。

